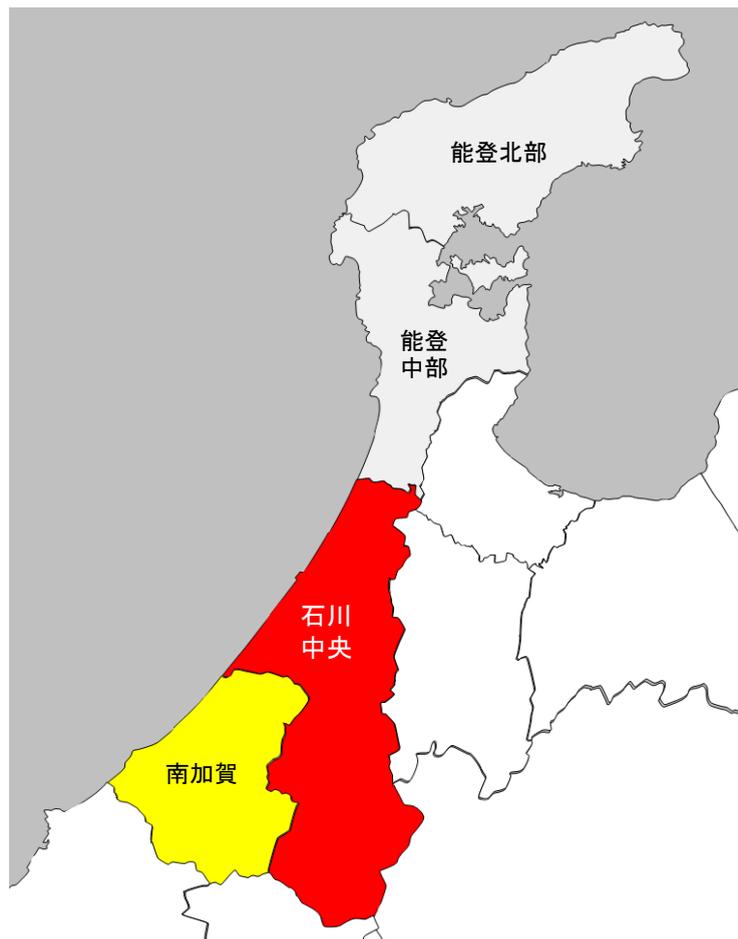


# 17. 石川県

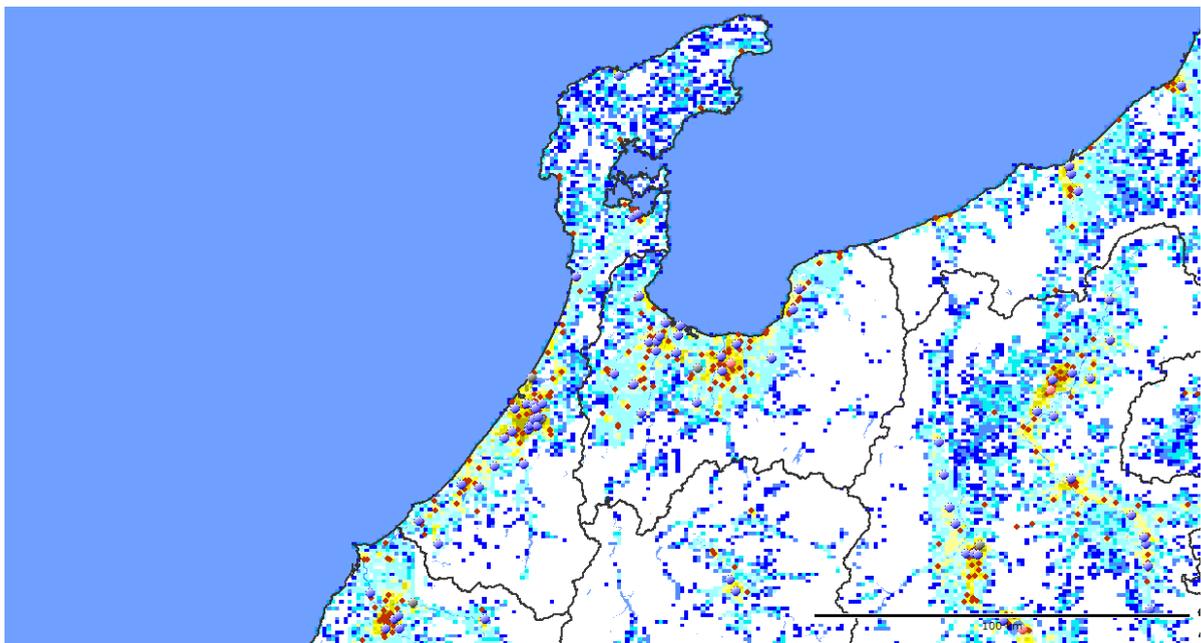


目次

石川県	17 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	17 - 8
1. 南加賀医療圏	17 - 20
2. 石川中央医療圏	17 - 25
3. 能登中部医療圏	17 - 30
4. 能登北部医療圏	17 - 35

# 17. 石川県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

## (石川県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 石川県は、総人口約1153千人(2015年推計)、面積4186km<sup>2</sup>、人口密度は275人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 石川県の総人口は2025年に1096千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に974千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の155千人が、2025年にかけて208千人へと増加し(2015年比+34%)、2040年には205千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 石川県の一人当たり医療費(国保)は363千円(偏差値61)、介護給付費は281千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 石川県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.37、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.46で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が52(病院医師数55、診療所医師数44)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は58と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は54とやや多い。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 石川県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18764人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が12306床(偏差値66)、高齢者住宅等が6458床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、14611人(75歳以上1000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設60、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム43、軽費ホーム68、グループホーム63、サ高住48である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、1596人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+2%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

石川県の総人口は、2005年1174026人が、2015年に1152926人と2%減少し、2025年の人口が1096170人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

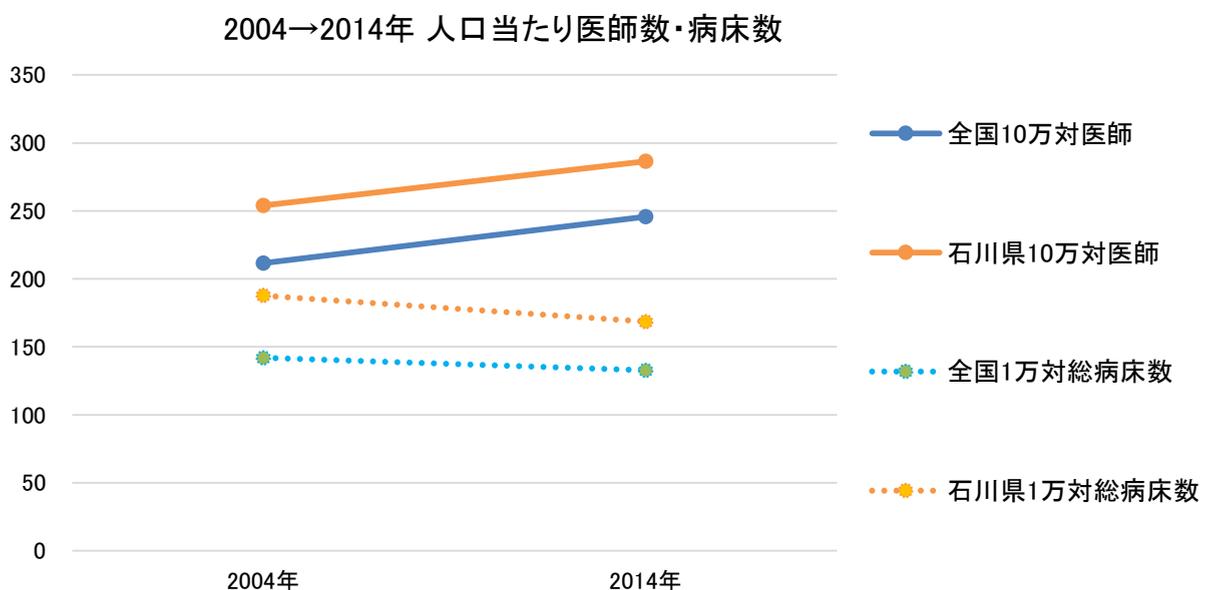
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が111(人口10万人当たり9.5病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に97(人口10万人当たり8.4病院(全国平均6.7)偏差値54)となり、10年間で14病院が減少した。

2004年の診療所数が843(人口10万人当たり72診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2014年に874(人口10万人当たり76診療所(全国平均79)偏差値48)と、31診療所が増加した。

2004年の総病床数が22038床(人口1万人当たり188(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に19430床(人口1万人当たり169(全国平均133)偏差値56)と、2608床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

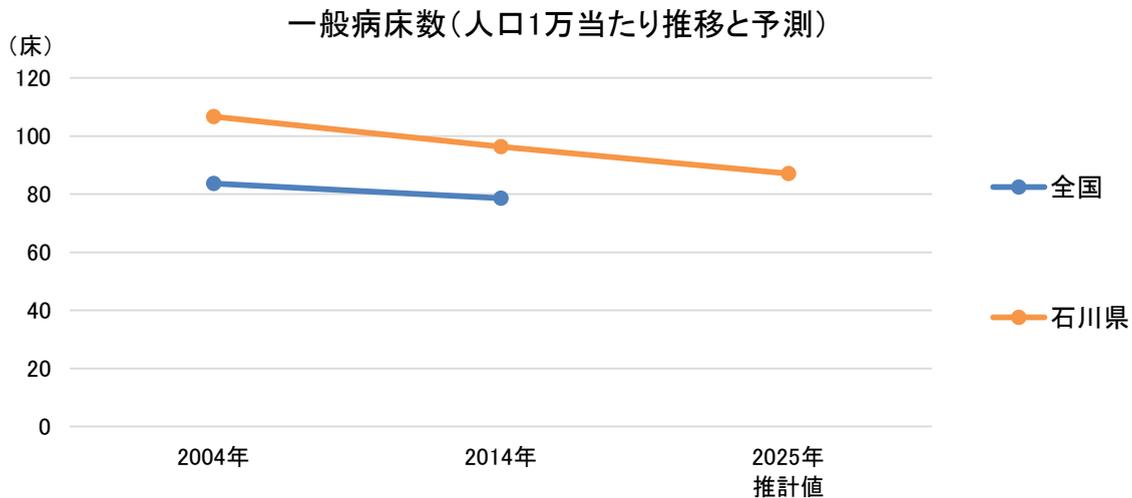
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が2981人(人口10万人当たり254人(全国平均212人)偏差値55)であったが、2014年に3303人(人口10万人当たり286人(全国平均246人)偏差値54)と、322人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



## 17. 石川県（2016年版）

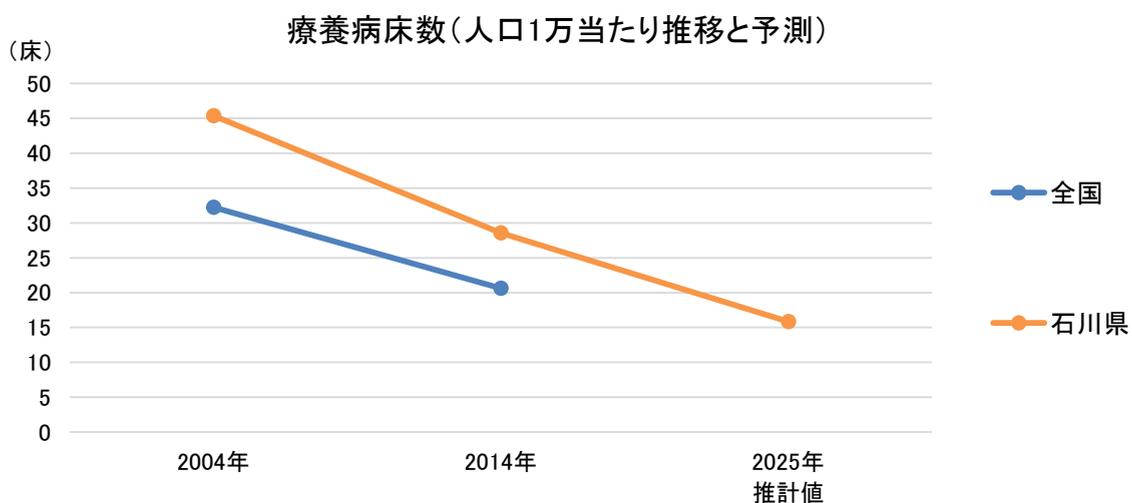
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が12524床(人口1万人当たり107(全国平均84)偏差値58)であったが、2014年に11102床(人口1万人当たり96(全国平均79)偏差値56)と、1422床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には9538床(2025年の推計人口1万人当たり87)になることが予想される。



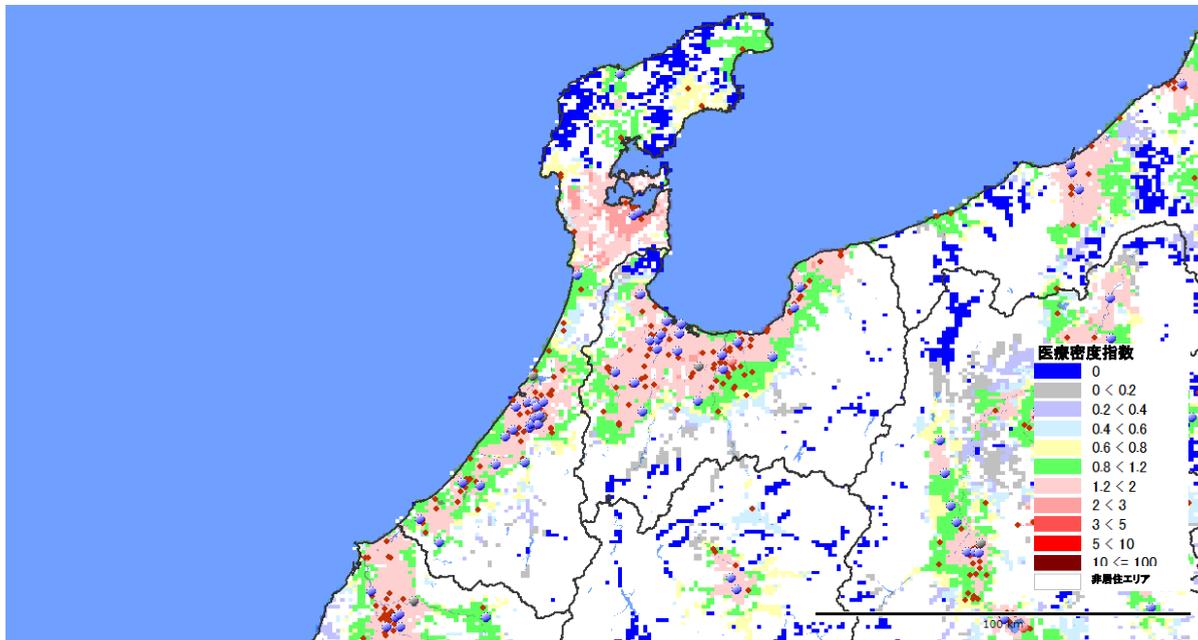
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5465床(75歳以上1000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2014年に4428床(75歳以上1000人当たり29(全国平均21)偏差値57)と、1037床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3287床(2025年の推計75歳以上1000人当たり16)になることが予想される。

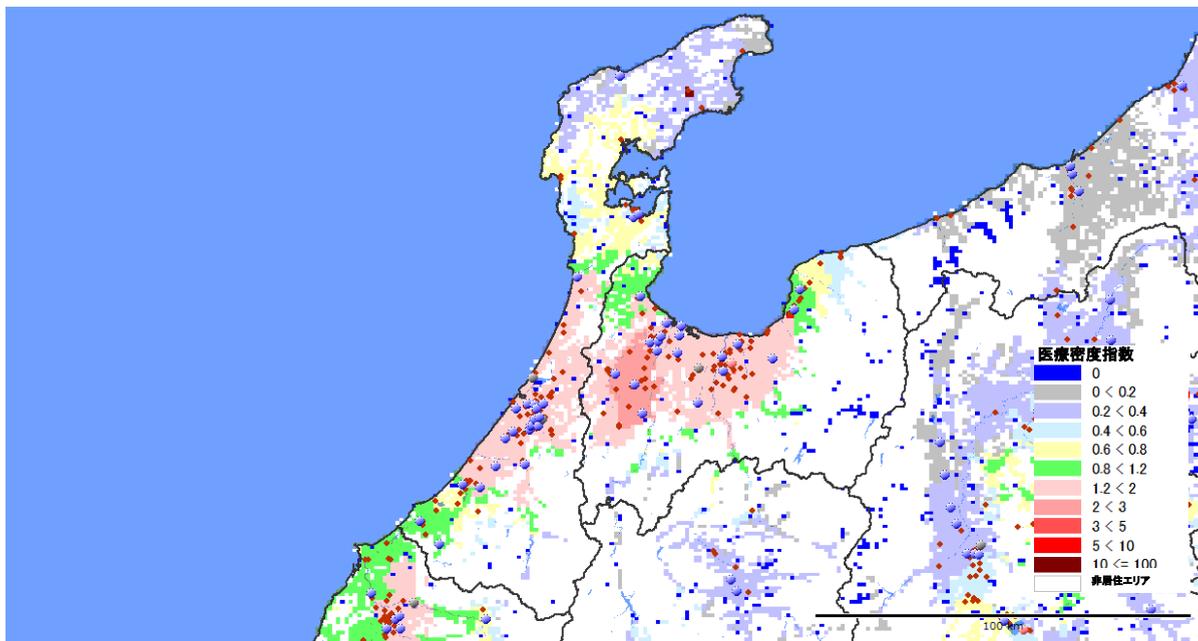


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表17-1 急性期医療密度指数マップ



図表17-2 慢性期医療密度指数マップ



17. 石川県 (2016年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

資\_図表 17-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
石川県	1,153	34位	4,186	35位	275.4		28%	1,096	974	155	208	205	-5%	-11%	34%	-1%
南加賀	231	20%	776	19%	297.6	地方都市型	28%	218	193	31	42	39	-6%	-11%	35%	-7%
石川中央	727	63%	1,432	34%	507.4	地方都市型	25%	713	659	83	121	128	-2%	-8%	46%	6%
能登中部	128	11%	848	20%	150.5	過疎地域型	36%	111	86	23	28	24	-13%	-23%	22%	-14%
能登北部	68	6%	1,130	27%	60.1	過疎地域型	45%	54	37	17	17	13	-21%	-31%	0%	-24%
出典	<人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資\_図表 17-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
石川県	1.37	1.46	0.7%	2.1%
南加賀	1.16	1.62	-0.2%	5.9%
石川中央	1.45	1.31	-12.1%	-19.1%
能登中部	1.73	1.48	10.2%	22.5%
能登北部	0.66	1.33	22.2%	41.1%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。			

資\_図表 17-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
石川県	363	61	1.078	281	57
南加賀	356	59	1.052	285	58
石川中央	362	60	1.107	272	55
能登中部	379	65	1.053	297	62
能登北部	360	60	0.997	304	64
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資\_図表 17-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	人口10万 当り			診療所数	人口10万 当り		
		県内 シェア	偏差値 *全国は 標準偏差	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	偏差値 *全国は 標準偏差	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
石川県	97	1.1%	8.4	54	874	0.9%	76	48
南加賀	22	23%	9.5	57	153	18%	66	43
石川中央	58	60%	8.0	53	579	66%	80	50
能登中部	12	12%	9.4	57	85	10%	67	44
能登北部	5	5%	7.4	52	57	7%	84	52
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 17-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	人口10万 当り			無床 診療所数	人口10万 当り			有床 診療所数	人口10万 当り		
		県内 シェア	偏差値 *全国は 標準偏差	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	偏差値 *全国は 標準偏差	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	偏差値 *全国は 標準偏差	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
石川県	874	0.9%	76	48	802	0.9%	70	48	72	0.9%	6.2	49
南加賀	153	18%	66	43	139	17%	60	43	14	19%	6.1	49
石川中央	579	66%	80	50	530	66%	73	50	49	68%	6.7	50
能登中部	85	10%	67	44	77	10%	60	43	8	11%	6.3	50
能登北部	57	7%	84	52	56	7%	82	55	1	1%	1.5	42
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

17. 石川県 (2016年版)

資\_図表 17-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
石川県	18,468	1.2%	1,602	57	962	0.9%	83	50	19,430	1.2%	1,685	56
南加賀	3,188	17%	1,381	53	175	18%	76	49	3,363	17%	1,456	52
石川中央	12,518	68%	1,723	60	650	68%	89	50	13,168	68%	1,812	59
能登中部	1,964	11%	1,540	56	133	14%	104	51	2,097	11%	1,644	56
能登北部	798	4%	1,175	49	4	0%	6	42	802	4%	1,181	47
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 17-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
石川県	10,180	1.1%	883	58	4,388	1.3%	381	56	3,790	1.1%	329	53
南加賀	1,848	18%	800	54	714	16%	309	52	612	16%	265	50
石川中央	6,518	64%	897	58	3,048	69%	420	58	2,921	77%	402	56
能登中部	1,288	13%	1,010	63	365	8%	286	51	257	7%	202	47
能登北部	526	5%	774	53	261	6%	384	56	0	0%	0	38
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 17-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>8</sup>

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
石川県	680	1.0%	59	51	737	2.0%	64	56
南加賀	125	18%	54	50	126	17%	55	54
石川中央	508	75%	70	53	445	60%	61	56
能登中部	47	7%	37	46	105	14%	82	60
能登北部	0	0%	0	38	61	8%	90	62
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生 局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数 データがないため非掲載。			

資\_図表 17-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
石川県	8,208	6,745	437	10,093	3,322	3,904	67.0%	56	10.1%	50
南加賀	1,255	1,076	135	1,909	749	578	59.0%	53	18.9%	54
石川中央	5,289	4,329	143	7,086	2,099	2,859	67.3%	56	4.8%	48
能登中部	1,046	814	78	918	474	287	63.2%	55	21.4%	55
能登北部	618	526	81	180	0	180	100.0%	70	31.0%	60
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 17-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
石川県	30,168	1.1%	2,617	54	10,116	1.0%	877	52
南加賀	3,540	12%	1,533	43	2,436	24%	1,055	59
石川中央	22,560	75%	3,105	58	6,624	65%	912	54
能登中部	3,648	12%	2,860	56	828	8%	649	44
能登北部	420	1%	618	35	228	2%	336	33
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 17-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
石川県	3,308	1.0%	287	52	2,326	1.1%	202	55	982	0.8%	85	44
南加賀	454	14%	197	42	289	12%	125	44	165	17%	72	40
石川中央	2,434	74%	335	57	1,769	76%	243	62	665	68%	91	46
能登中部	294	9%	230	46	190	8%	149	47	103	11%	81	43
能登北部	127	4%	187	41	78	3%	115	42	49	5%	72	40
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

17. 石川県 (2016年版)

資\_図表 17-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
石川県	168	1.1%	14.6	53	108	0.9%	9.4	49	101	1.0%	8.8	51
南加賀	18	11%	7.8	43	12	11%	5.2	40	17	17%	7.4	48
石川中央	138	82%	19.0	60	84	78%	11.6	54	75	74%	10.3	55
能登中部	10	6%	7.8	43	9	8%	7.1	44	8	8%	6.3	45
能登北部	2	1%	2.9	36	3	3%	4.4	38	1	1%	1.5	32
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 17-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
石川県	68	1.3%	5.9	58	86	0.9%	7.5	50	79	1.1%	6.9	54
南加賀	13	19%	5.6	57	13	15%	5.6	44	14	18%	6.1	51
石川中央	49	72%	6.7	62	64	74%	8.8	54	61	77%	8.4	60
能登中部	5	7%	3.9	49	8	9%	6.3	46	3	4%	2.4	36
能登北部	1	1%	1.5	37	1	1%	1.5	31	1	1%	1.5	33
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 17-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
石川県	70	0.8%	6.1	49	218	1.1%	18.9	54	162	1.1%	14.1	54
南加賀	9	13%	3.9	42	29	13%	12.6	45	30	19%	13.0	52
石川中央	56	80%	7.7	53	164	75%	22.6	59	111	69%	15.3	57
能登中部	5	7%	3.9	43	14	6%	11.0	43	15	9%	11.8	49
能登北部	0	0%	0	31	11	5%	16.2	50	6	4%	8.8	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 17-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
石川県	57	1.0%	4.9	52	80	1.3%	6.9	58	74	1.4%	6.4	58
南加賀	11	19%	4.8	51	11	14%	4.8	49	4	5%	1.7	42
石川中央	39	68%	5.4	54	61	76%	8.4	64	67	91%	9.2	67
能登中部	5	9%	3.9	47	5	6%	3.9	45	2	3%	1.6	41
能登北部	2	4%	2.9	42	3	4%	4.4	47	1	1%	1.5	41
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 17-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
石川県	69	1.1%	6.0	53	16	1.0%	1.4	52	27	0.8%	2.3	49
南加賀	8	12%	3.5	44	2	13%	0.9	46	3	11%	1.3	42
石川中央	54	78%	7.4	57	14	88%	1.9	58	22	81%	3.0	52
能登中部	6	9%	4.7	48	0	0%	0	37	1	4%	0.8	39
能登北部	1	1%	1.5	38	0	0%	0	37	1	4%	1.5	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 17-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
石川県	31	1.6%	2.7	59	29	1.2%	2.5	55
南加賀	2	6%	0.9	44	5	17%	2.2	52
石川中央	26	84%	3.6	67	23	79%	3.2	60
能登中部	3	10%	2.4	56	1	3%	0.8	42
能登北部	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

17. 石川県 (2016年版)

資\_図表 17-18 看護師数 (総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
石川県	12,554	1.1%	1,089	58	10,849	1.2%	941	59	1,705	0.9%	148	49
南加賀	1,990	16%	862	50	1,732	16%	750	52	258	15%	112	44
石川中央	8,780	70%	1,208	62	7,531	69%	1,036	63	1,249	73%	172	52
能登中部	1,250	10%	980	54	1,146	11%	899	58	104	6%	82	40
能登北部	535	4%	787	47	440	4%	648	47	95	6%	139	48
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 17-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
石川県	1,206	1.0%	105	52	2,618	0.9%	227	50
南加賀	240	20%	104	52	407	16%	176	45
石川中央	788	65%	108	53	1,911	73%	263	54
能登中部	142	12%	112	53	196	7%	154	42
能登北部	36	3%	53	42	104	4%	153	42
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 17-20 在宅医療施設数 (在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
石川県	162	1.1%	1.0	53	16	1.4%	0.1	55	102	1.1%	0.7	54
南加賀	30	19%	1.0	52	2	13%	0.1	49	20	20%	0.6	53
石川中央	110	68%	1.3	59	10	63%	0.1	58	59	58%	0.7	57
能登中部	19	12%	0.8	48	3	19%	0.1	59	13	13%	0.6	49
能登北部	3	2%	0.2	34	1	6%	0.1	48	10	10%	0.6	50
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資\_図表 17-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)
石川県	18,764	1.1%	121	63	12,306	1.3%	79	66	6,458	1.0%	42	51
南加賀	3,787	20%	122	63	2,754	22%	89	73	1,033	16%	33	46
石川中央	10,480	56%	126	66	6,042	49%	73	60	4,438	69%	53	59
能登中部	2,685	14%	115	59	2,045	17%	88	72	640	10%	27	42
能登北部	1,812	10%	105	53	1,465	12%	85	70	347	5%	20	37
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 17-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)
石川県	4,324	1.2%	28	60	6,931	1.3%	45	61	1,051	1.6%	6.8	56
南加賀	1,139	26%	37	76	1,468	21%	47	64	147	14%	4.7	51
石川中央	2,075	48%	25	55	3,490	50%	42	58	477	45%	5.7	54
能登中部	707	16%	30	65	1,091	16%	47	63	247	24%	10.6	66
能登北部	403	9%	23	52	882	13%	51	68	180	17%	10.4	65
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 17-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	223,346		13.6	(10.3)	22,728		1.4	(2.1)	191,184		11.6	(5.6)
石川県	972	0.4%	6.3	43	791	3.5%	5.1	68	2,905	1.5%	18.7	63
南加賀	97	10%	3.1	40	123	16%	4.0	62	480	17%	15.4	57
石川中央	793	82%	9.5	46	599	76%	7.2	78	1,688	58%	20.3	65
能登中部	82	8%	3.5	40	0	0%	0	43	459	16%	19.7	64
能登北部	0	0%	0	37	69	9%	4.0	63	278	10%	16.1	58
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

17. 石川県 (2016年版)

資\_図表 17-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
石川県	1,790	0.8%	11.6	48	30	0.2%	0.2	46	1,760	0.9%	11.4	49
南加賀	333	19%	10.7	47	0	0%	0	45	333	19%	10.7	48
石川中央	1,358	76%	16.3	55	30	100%	0.4	47	1,328	75%	16.0	56
能登中部	99	6%	4.2	37	0	0%	0	45	99	6%	4.2	37
能登北部	0	0%	0	31	0	0%	0	45	0	0%	0	31
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 17-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
石川県	1,893	1.2%	12.2	60	1,503	1.3%	9.7	62	390	0.9%	2.5	49
南加賀	428	23%	13.7	67	348	23%	11.2	68	79	20%	2.5	50
石川中央	936	49%	11.2	56	684	45%	8.2	55	252	65%	3.0	56
能登中部	310	16%	13.3	65	278	19%	11.9	72	32	8%	1.4	36
能登北部	219	12%	12.7	63	193	13%	11.2	68	27	7%	1.5	38
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 17-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
石川県	16,206	1.1%	105	62	14,611	1.2%	94	65	1,596	0.7%	10.3	44
南加賀	3,385	21%	109	65	3,188	22%	102	73	197	12%	6.3	37
石川中央	8,890	55%	107	64	7,742	53%	93	64	1,148	72%	13.8	50
能登中部	2,342	14%	100	58	2,198	15%	94	65	144	9%	6.1	36
能登北部	1,590	10%	92	52	1,483	10%	86	58	107	7%	6.2	37
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 17-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
石川県	8,753	0.8%	56	47	3,452	0.8%	22	47	14,373	1.0%	93	51
南加賀	1,832	21%	59	48	697	20%	22	48	1,507	10%	48	36
石川中央	5,563	64%	67	51	2,279	66%	27	52	10,522	73%	126	61
能登中部	853	10%	37	41	281	8%	12	38	1,039	7%	44	35
能登北部	505	6%	29	38	195	6%	11	37	1,305	9%	76	45
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 17-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
石川県		1,174,026	1,152,926	-2%	1,096,170	-7%	11%	4%	16%
南加賀	地方都市型	236,950	230,898	-3%	218,368	-8%	10%	3%	14%
石川中央	地方都市型	709,489	726,573	2%	712,603	0%	16%	8%	26%
能登中部	過疎地域型	144,373	127,535	-12%	110,893	-23%	1%	-3%	-2%
能登北部	過疎地域型	83,214	67,920	-18%	54,306	-35%	-6%	-12%	-17%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資\_図表 17-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
石川県	111	9.5	56	97	8.4	54	-14	-13%	82
南加賀	25	10.6	59	22	9.5	57	-3	-12%	19
石川中央	67	9.4	56	58	8.0	53	-9	-13%	48
能登中部	13	9.0	55	12	9.4	57	-1	-8%	11
能登北部	6	7.2	50	5	7.4	52	-1	-17%	4
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

17. 石川県 (2016年版)

資\_図表 17-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
石川県	843	72	48	874	76	48	31	4%	909
南加賀	144	61	42	153	66	43	9	6%	163
石川中央	541	76	50	579	80	50	38	7%	621
能登中部	96	66	45	85	67	44	-11	-11%	73
能登北部	62	75	49	57	84	52	-5	-8%	52
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 17-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
石川県	2,981	254	55	3,303	286	54	322	11%	3,657
南加賀	374	158	44	388	168	42	14	4%	403
石川中央	2,244	316	62	2,556	352	61	312	14%	2,899
能登中部	246	170	45	253	198	45	7	3%	261
能登北部	117	141	42	106	156	41	-11	-9%	94
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 17-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
石川県	22,038	188	58	19,430	169	56	-2,608	-12%	16,561
南加賀	3,942	166	54	3,363	146	52	-579	-15%	2,726
石川中央	14,361	202	61	13,168	181	59	-1,193	-8%	11,856
能登中部	2,564	178	56	2,097	164	56	-467	-18%	1,583
能登北部	1,171	141	50	802	118	47	-369	-32%	396
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 17-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
石川県	12,524	107	58	11,102	96	56	-1,422	-11%	9,538	87
南加賀	2,299	97	55	2,015	87	53	-284	-12%	1,703	78
石川中央	7,801	110	59	7,144	98	57	-657	-8%	6,421	90
能登中部	1,692	117	62	1,413	111	62	-279	-16%	1,106	100
能登北部	732	88	52	530	78	50	-202	-28%	308	57
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 17-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
石川県	5,465	45	57	4,428	29	57	-1,037	-19%	3,287	16
南加賀	984	40	55	722	23	52	-262	-27%	434	10
石川中央	3,542	59	65	3,072	37	64	-470	-13%	2,555	21
能登中部	511	25	46	373	16	46	-138	-27%	221	8
能登北部	428	28	47	261	15	45	-167	-39%	77	4
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

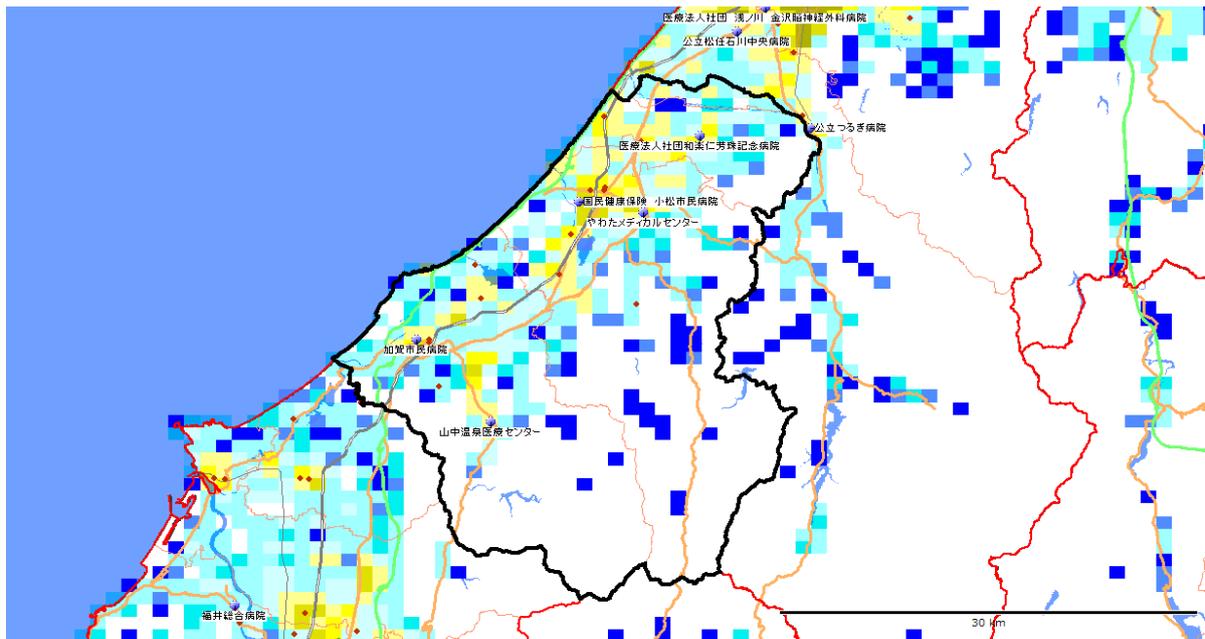
資\_図表 17-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人あたり実績医療費<sup>9</sup>

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
石川県	371	60	1.075	164	63	1.241	185	55	0.989
南加賀	367	59	1.049	164	63	1.217	181	52	0.955
石川中央	368	60	1.090	164	63	1.262	183	53	1.000
能登中部	387	64	1.046	171	66	1.197	194	60	0.968
能登北部	375	61	1.015	160	62	1.119	196	61	0.979
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

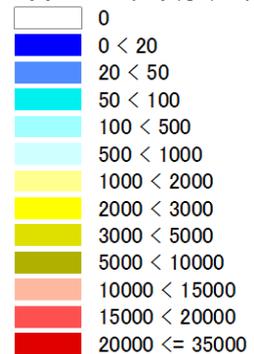
# 17-1. みなみかが 南加賀医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [小松市](#)      [加賀市](#)      [能美市](#)      [川北町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (南加賀医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 南加賀(小松市)は、総人口約231千人(2015年推計)、面積776km<sup>2</sup>、人口密度は298人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 南加賀の総人口は2025年に218千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に193千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の31千人が、2025年にかけて42千人へと増加し(2015年比+35%)、2040年には39千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 南加賀の一人当たり医療費(国保)は356千円(偏差値59)、介護給付費は285千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 南加賀の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.16、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.62で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が42(病院医師数44、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。南加賀には、年間全身麻酔件数が1000例以上の小松市民病院(Ⅲ群)、500例以上のやわたメディカルセンター(Ⅲ群)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 南加賀の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3787人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2754床(偏差値73)、高齢者住宅等が1033床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3188人(75歳以上1000人当たりの偏差値73)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設76、特別養護老人ホーム64、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム40、軽費ホーム62、グループホーム57、サ高住47である。

- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、197人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。
- \*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+6%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

南加賀医療圏の総人口は、2005年236950人が、2015年に230898人と3%減少し、2025年の人口が218368人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

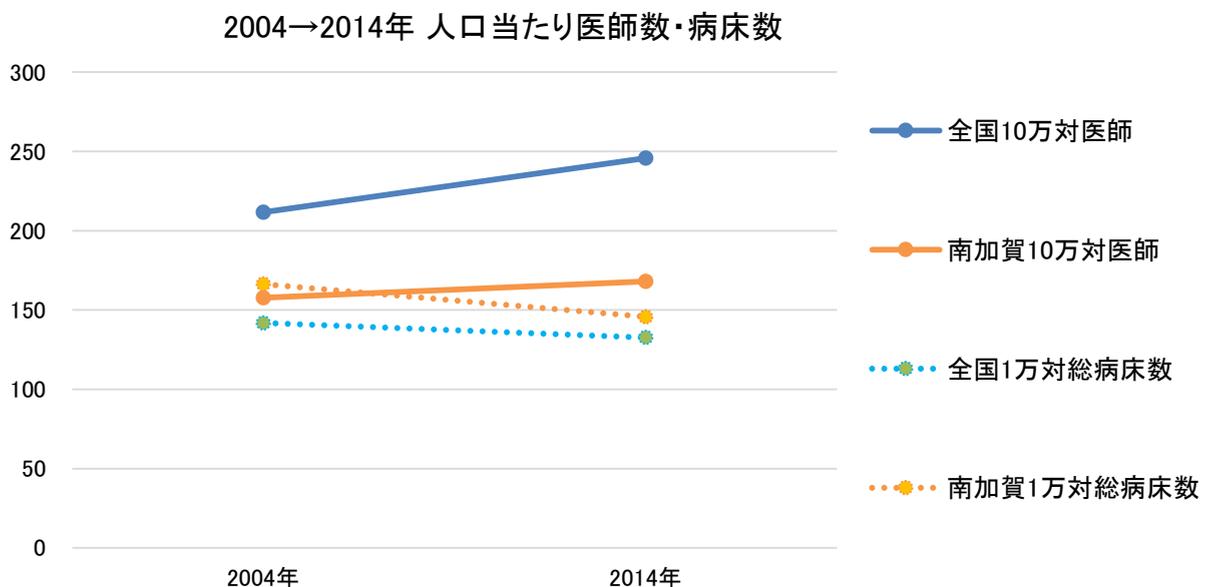
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が25(人口10万人当たり10.6病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に22(人口10万人当たり9.5病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が144(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2014年に153(人口10万人当たり66診療所(全国平均79)偏差値43)と、9診療所が増加した。

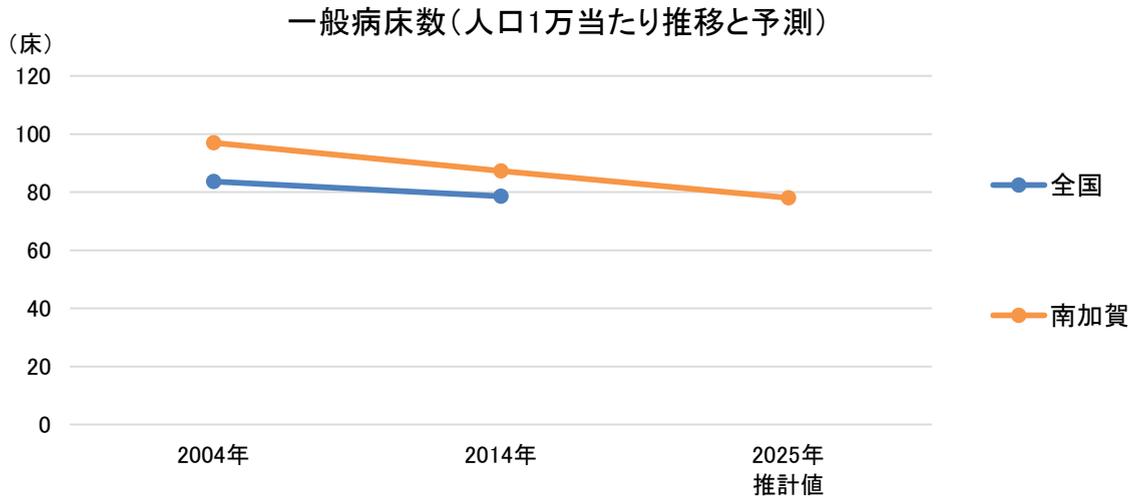
2004年の総病床数が3942床(人口1万人当たり166(全国平均142)偏差値54)であったが、2014年に3363床(人口1万人当たり146(全国平均133)偏差値52)と、579床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が374人(人口10万人当たり158人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に388人(人口10万人当たり168人(全国平均246人)偏差値42)と、14人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



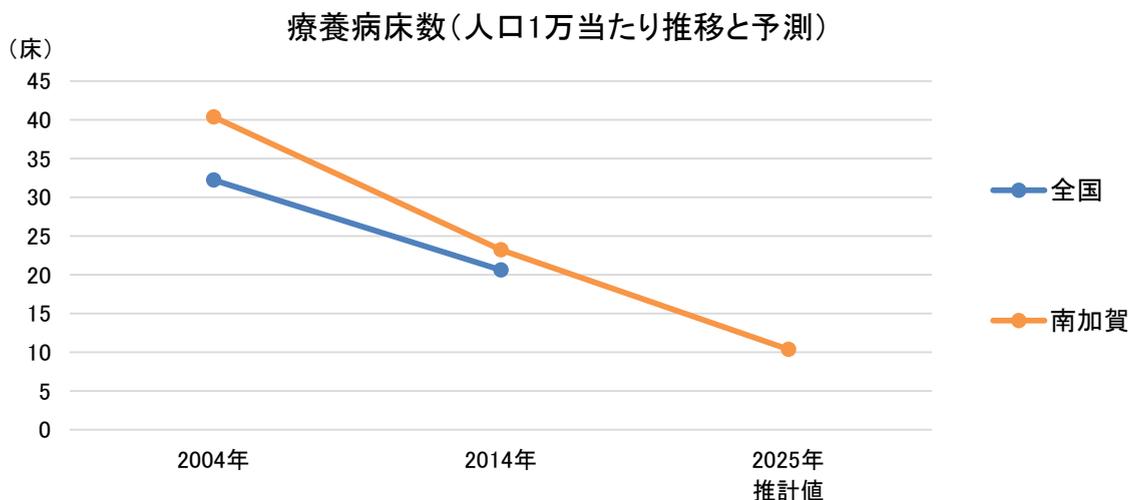
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2299床(人口1万人当たり97(全国平均84)偏差値55)であったが、2014年に2015床(人口1万人当たり87(全国平均79)偏差値53)と、284床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1703床(2025年の推計人口1万人当たり78)になることが予想される。



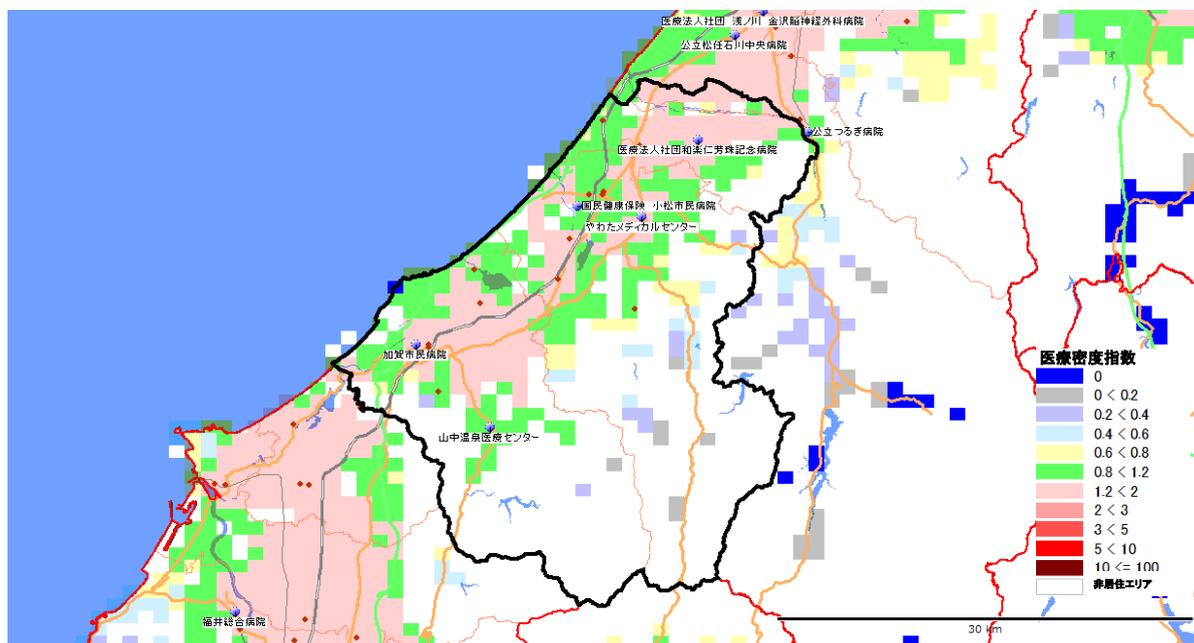
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が984床(75歳以上1000人当たり40(全国平均32)偏差値55)であったが、2014年に722床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、262床の減少、率にして27%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には434床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。

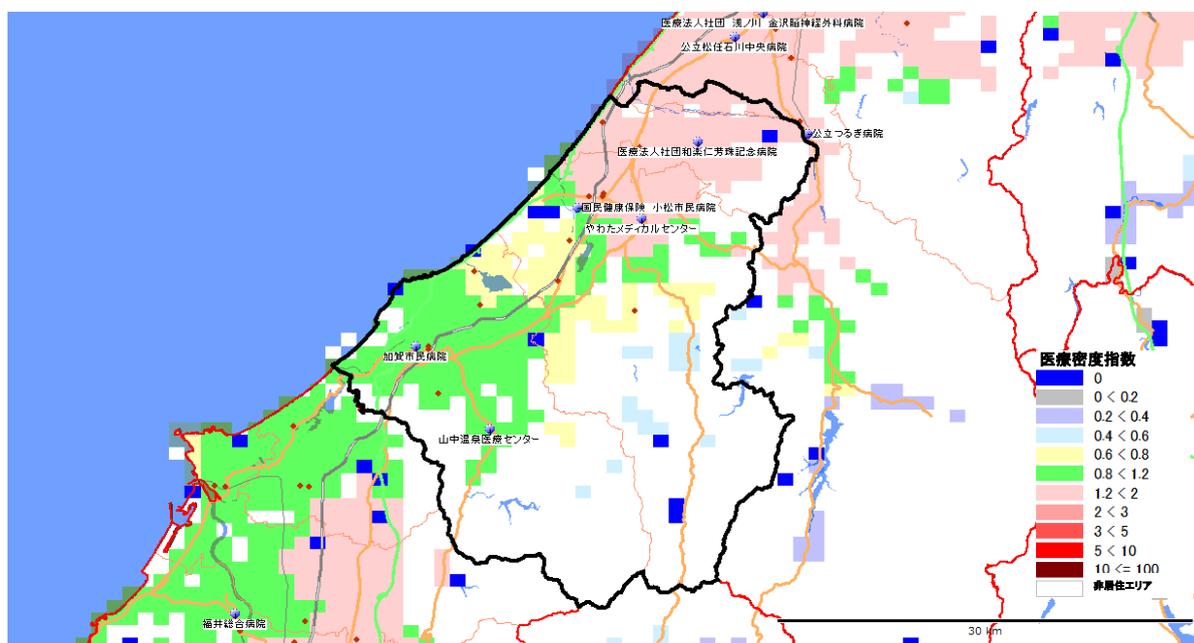


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表17-1-1 急性期医療密度指数マップ



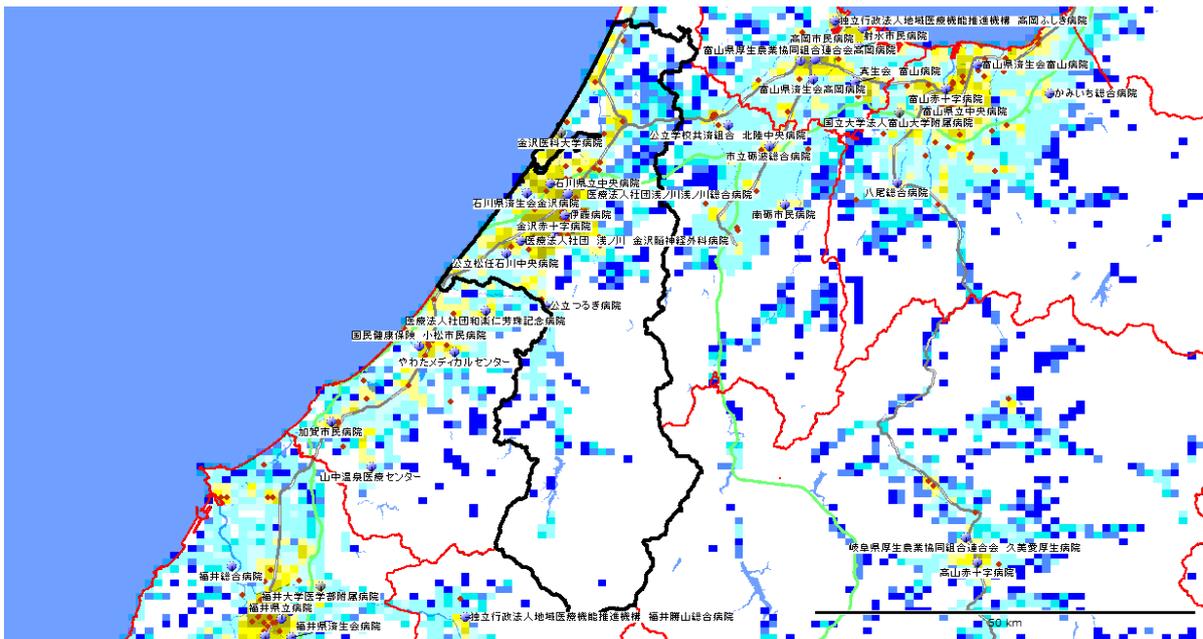
図表17-1-2 慢性期医療密度指数マップ



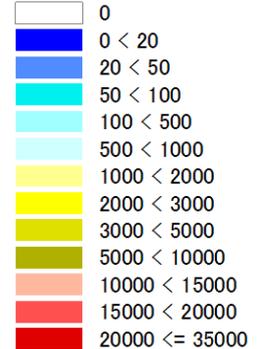
# 17-2. いしかわちゅうおう 石川中央医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [金沢市](#) [津幡町](#) [かほく市](#) [内灘町](#) [白山市](#) [野々市市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (石川中央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 石川中央(金沢市)は、総人口約727千人(2015年推計)、面積1432km<sup>2</sup>、人口密度は507人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 石川中央の総人口は2025年に713千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に659千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の83千人が、2025年にかけて121千人へと増加し(2015年比+46%)、2040年には128千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 石川中央の一人当たり医療費(国保)は362千円(偏差値60)、介護給付費は272千円(偏差値55)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 石川中央の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.45、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.31で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が57(病院医師数62、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は62と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は58と多い。石川中央には、年間全身麻酔件数が2000例以上の石川県立中央病院(Ⅱ群・救命)、金沢大学附属病院(Ⅰ群)、金沢医科大学病院(Ⅰ群)、1000例以上の国立病院機構金沢医療センター(Ⅲ群)、公立松任石川中央病院(Ⅲ群)、500例以上の浅ノ川総合病院(Ⅲ群)、JCHO金沢病院(Ⅲ群)、済生会金沢病院(Ⅲ群)、金沢市立病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 石川中央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10480人(75歳以上1000人当たりの偏差値66)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が6042床(偏差値60)、高齢者住宅等が4438床(偏差値59)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7742人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム46、軽費ホーム78、グループホーム65、サ高住55である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値59と多く、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、1148人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-19%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

石川中央医療圏の総人口は、2005年709489人が、2015年に726573人と2%増加し、2025年の人口が712603人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

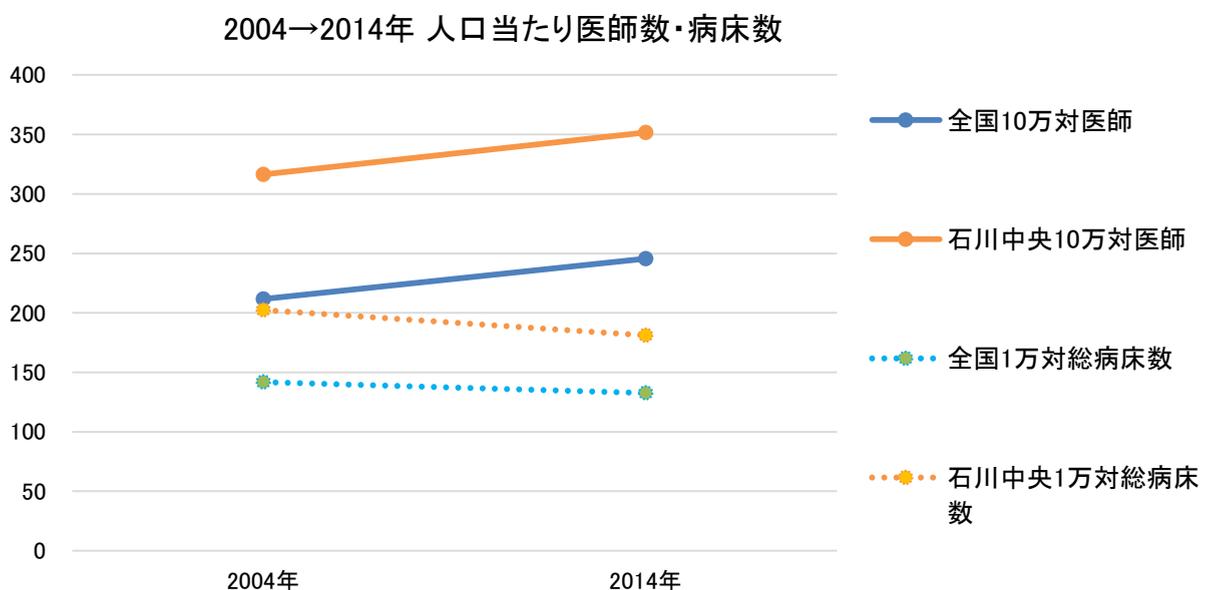
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が67(人口10万人当たり9.4病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に58(人口10万人当たり8病院(全国平均6.7)偏差値53)となり、10年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が541(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に579(人口10万人当たり80診療所(全国平均79)偏差値50)と、38診療所が増加した。

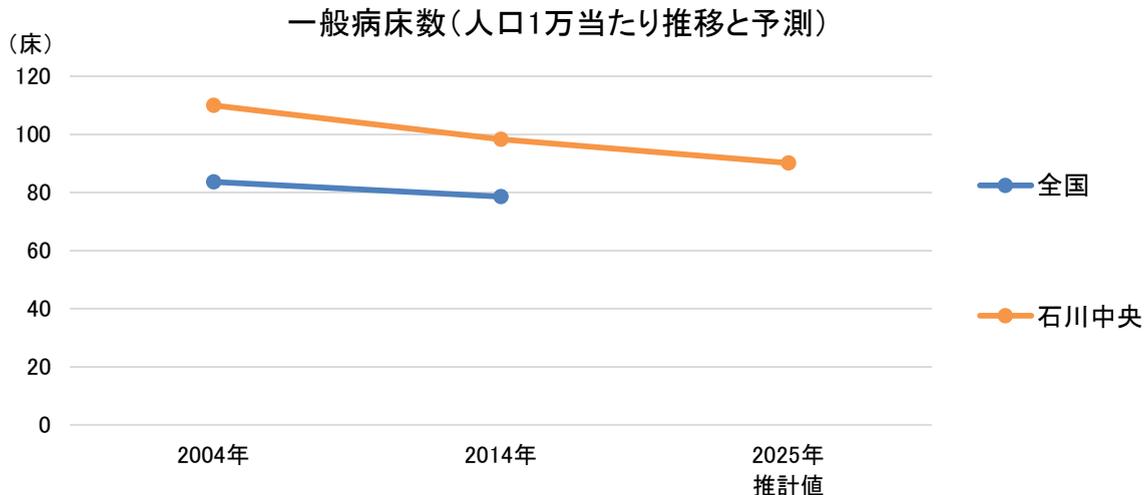
2004年の総病床数が14361床(人口1万人当たり202(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に13168床(人口1万人当たり181(全国平均133)偏差値59)と、1193床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が2244人(人口10万人当たり316人(全国平均212人)偏差値62)であったが、2014年に2556人(人口10万人当たり352人(全国平均246人)偏差値61)と、312人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



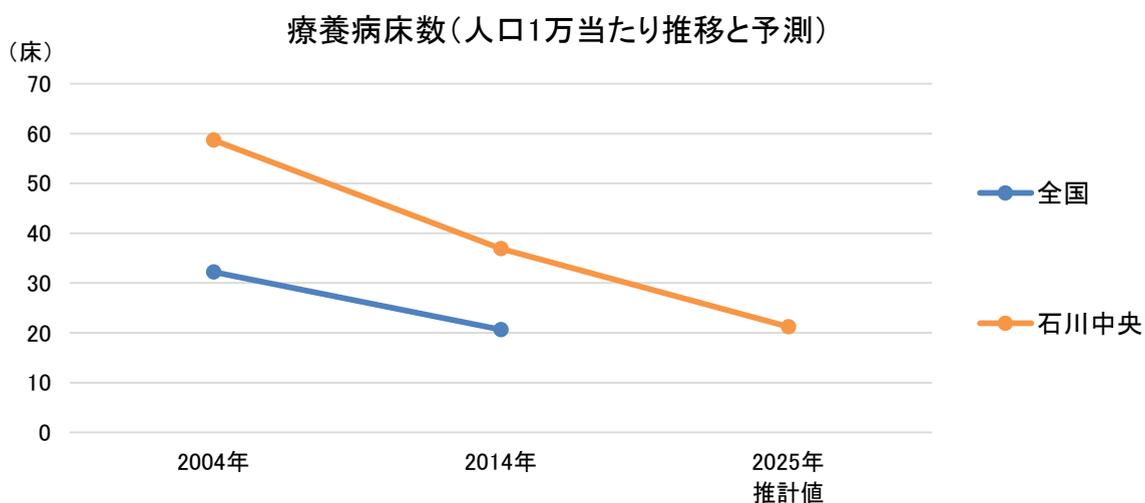
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が7801床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に7144床(人口1万人当たり98(全国平均79)偏差値57)と、657床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6421床(2025年の推計人口1万人当たり90)になることが予想される。



**【療養病床の推移と今後の予測】**

2004年の療養病床(病院+診療所)が3542床(75歳以上1000人当たり59(全国平均32)偏差値65)であったが、2014年に3072床(75歳以上1000人当たり37(全国平均21)偏差値64)と、470床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2555床(2025年の推計75歳以上1000人当たり21)になることが予想される。

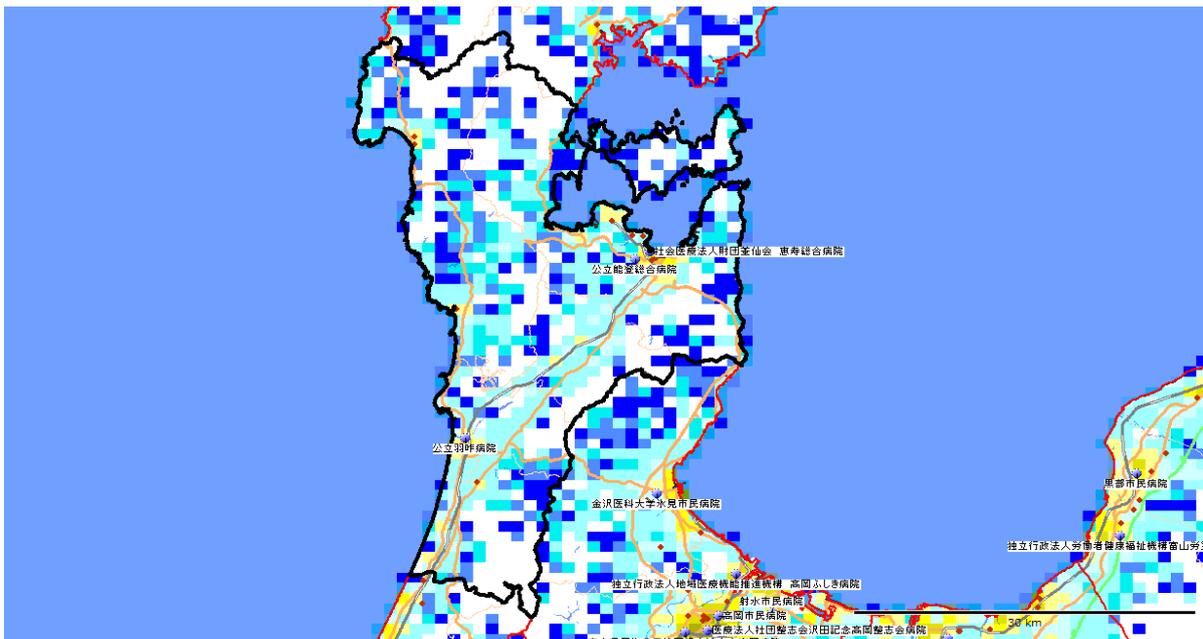




# 17-3. の と ち ゆ う ぶ 能登中部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [七尾市](#) [羽咋市](#) [志賀町](#) [宝達志水町](#)  
[中能登町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (能登中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 能登中部(七尾市)は、総人口約128千人(2015年推計)、面積848km<sup>2</sup>、人口密度は150人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 能登中部の総人口は2025年に111千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に86千人へと減少する(2025年比-23%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の23千人が、2025年にかけて28千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には24千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 能登中部の一人当たり医療費(国保)は379千円(偏差値65)、介護給付費は297千円(偏差値62)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

### 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 能登中部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.73、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.48で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が46(病院医師数47、診療所医師数43)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。能登中部には、年間全身麻酔件数が500例以上の公立能登総合病院(Ⅲ群・救命)、恵寿総合病院(Ⅲ群)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 能登中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2685人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2045床(偏差値72)、高齢者住宅等が640床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2198人(75歳以上1000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設65、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設66、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム64、サ高住37である。

- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、144人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。
- \*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+22%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

能登中部医療圏の総人口は、2005年144373人が、2015年に127535人と12%減少し、2025年の人口が110893人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

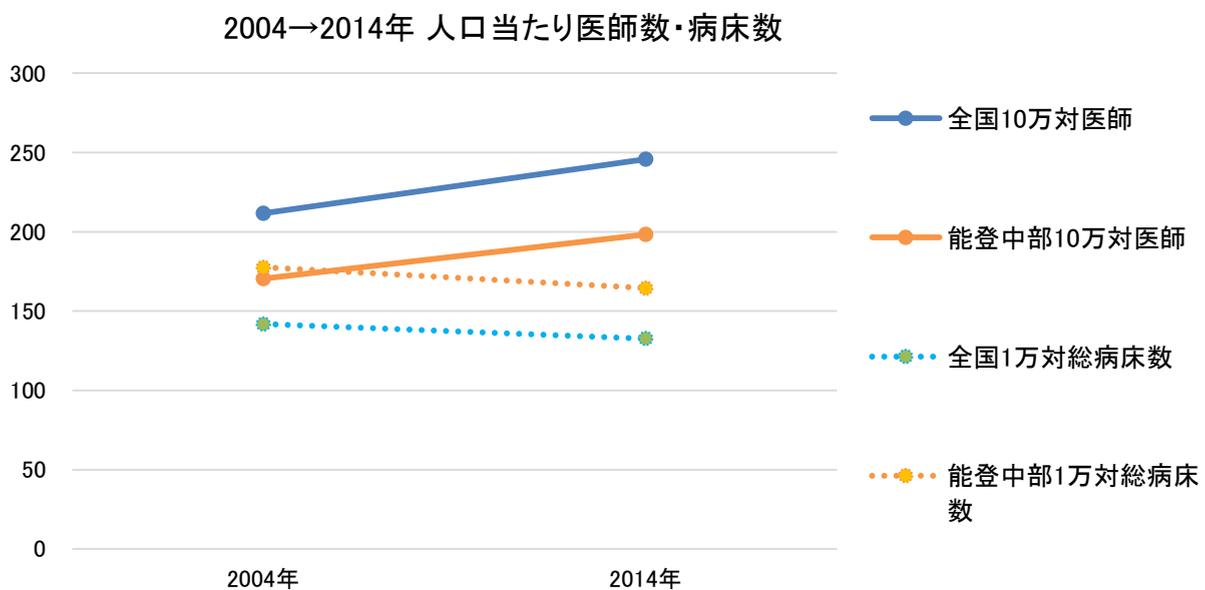
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が13(人口10万人当たり9病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2014年に12(人口10万人当たり9.4病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が96(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に85(人口10万人当たり67診療所(全国平均79)偏差値44)と、11診療所が減少した。

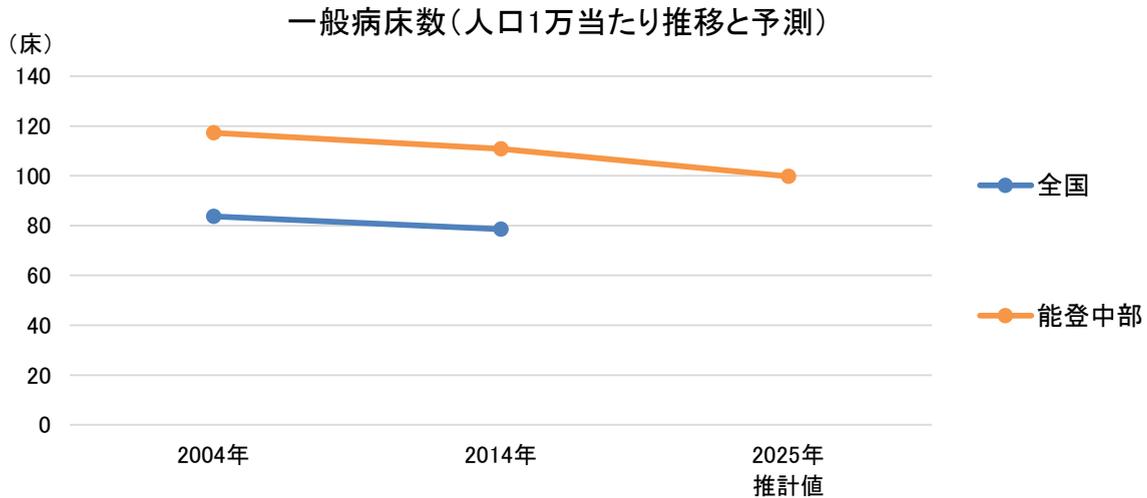
2004年の総病床数が2564床(人口1万人当たり178(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に2097床(人口1万人当たり164(全国平均133)偏差値56)と、467床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が246人(人口10万人当たり170人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に253人(人口10万人当たり198人(全国平均246人)偏差値45)と、7人の増加、率にして3%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



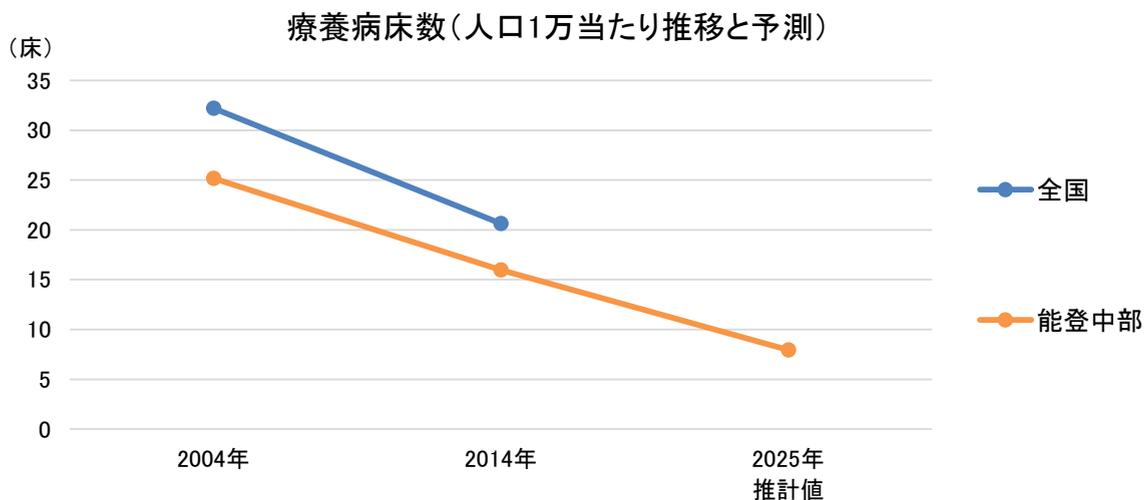
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1692床(人口1万人当たり117(全国平均84)偏差値62)であったが、2014年に1413床(人口1万人当たり111(全国平均79)偏差値62)と、279床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1106床(2025年の推計人口1万人当たり100)になることが予想される。



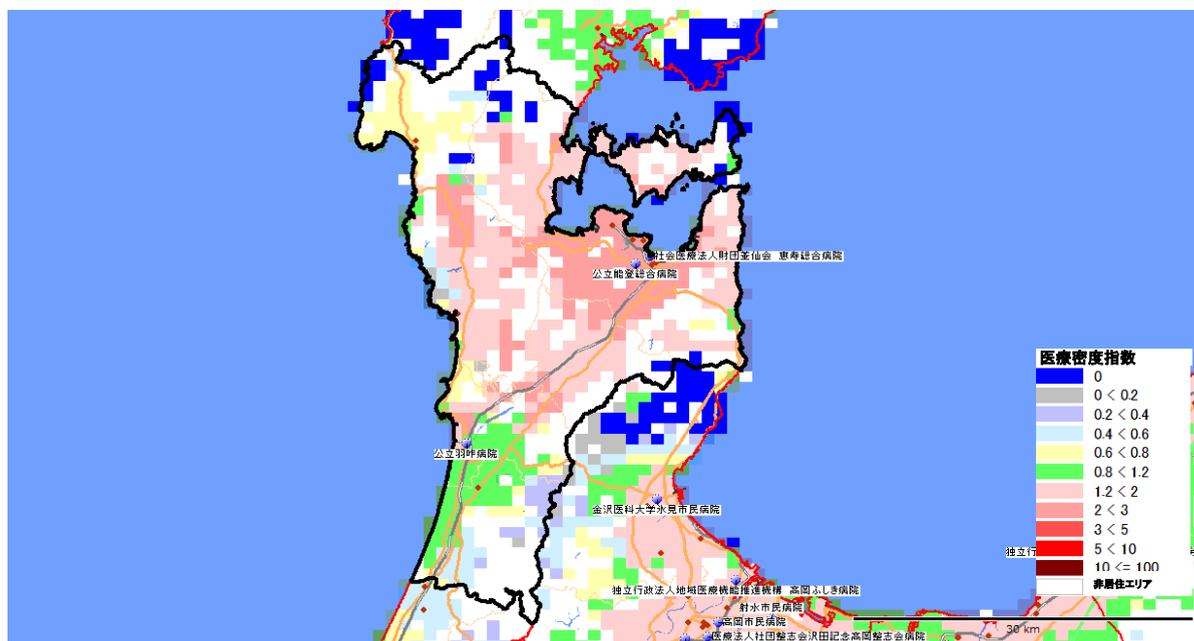
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が511床(75歳以上1000人当たり25(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に373床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、138床の減少、率にして27%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には221床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。

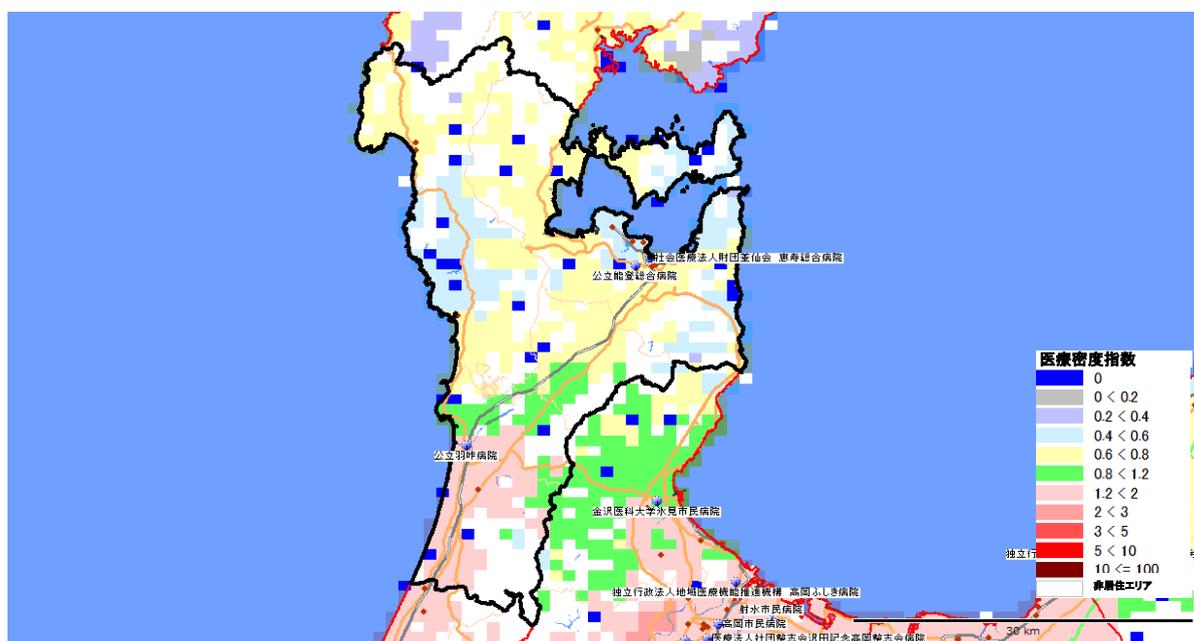


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表17-3-1 急性期医療密度指数マップ



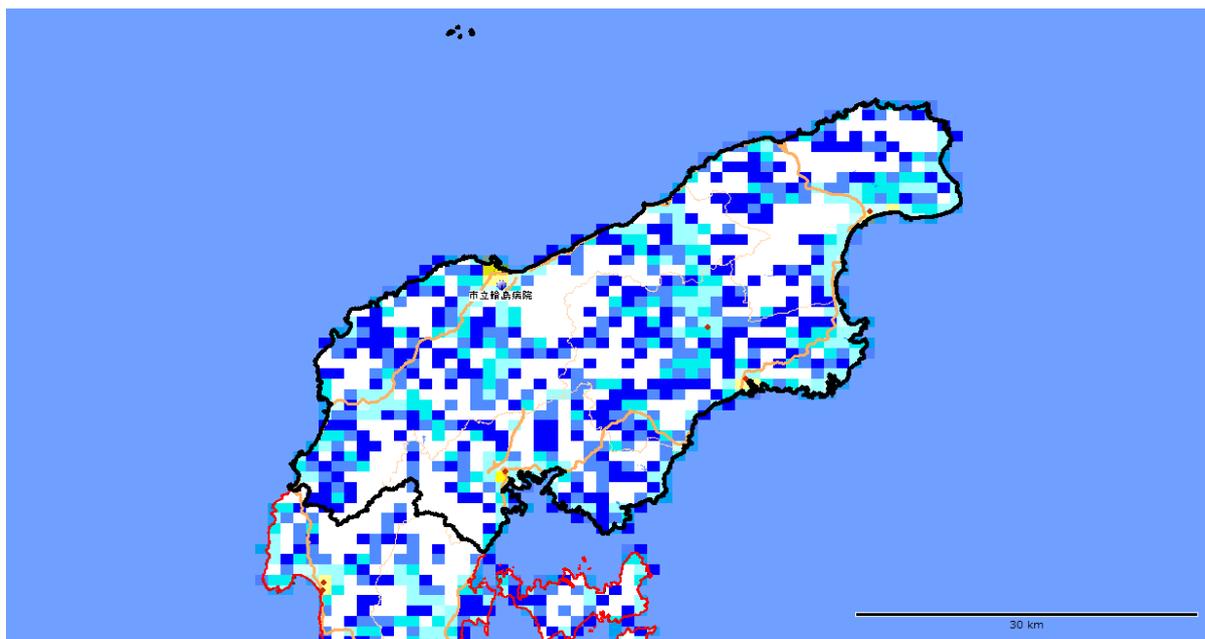
図表17-3-2 慢性期医療密度指数マップ



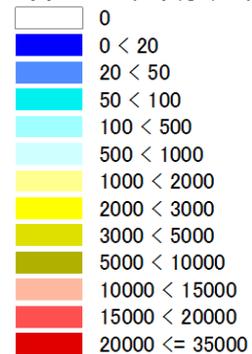
# 17-4. の と ほ く ぶ 能登北部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [輪島市](#)      [珠洲市](#)      [穴水町](#)      [能登町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## (能登北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 能登北部(輪島市)は、総人口約68千人(2015年推計)、面積1130km<sup>2</sup>、人口密度は60人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 能登北部の総人口は2025年に54千人へと減少し(2015年比-21%)、2040年に37千人へと減少する(2025年比-31%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の17千人が、2025年にかけて17千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には13千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 能登北部の一人当たり医療費(国保)は360千円(偏差値60)、介護給付費は304千円(偏差値64)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 能登北部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.66、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.33で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が41(病院医師数42、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は35と少ない。能登北部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 能登北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1812人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1465床(偏差値70)、高齢者住宅等が347床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1483人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム68、介護療養型医療施設65、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム63、グループホーム58、サ高住なし(偏差値31)である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、107人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+41%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数では過剰である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

能登北部医療圏の総人口は、2005年83214人が、2015年に67920人と18%減少し、2025年の人口が54306人と予測され、2005年→2025年の間に35%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%減少し、2015年から2025年にかけて12%程度の減少が予測される。

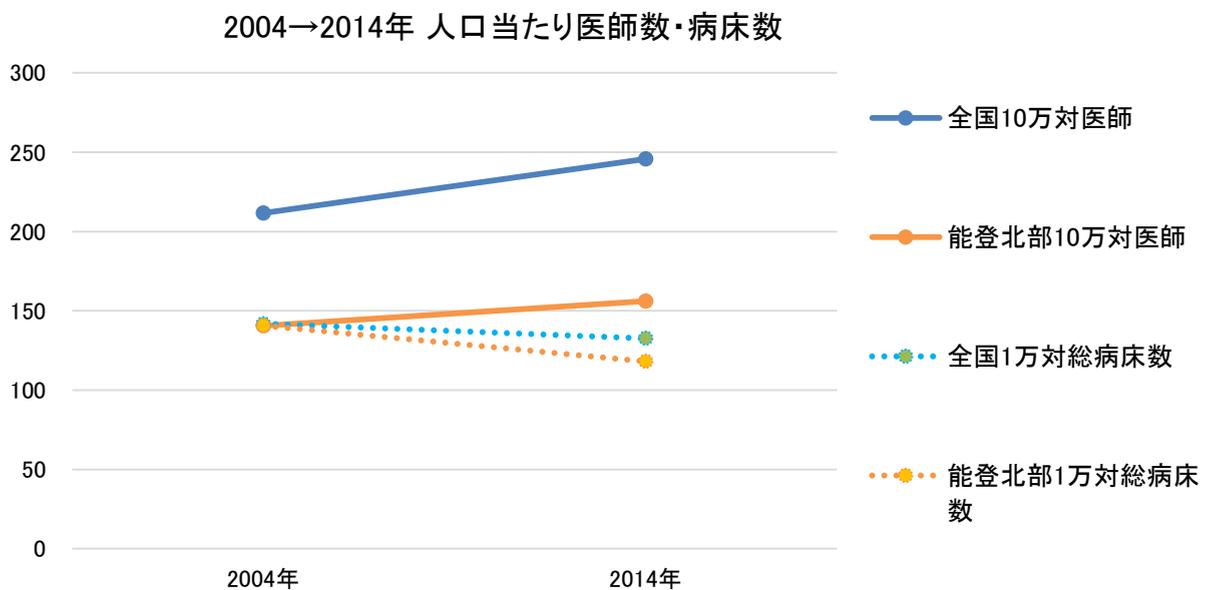
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり7.2病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に5(人口10万人当たり7.4病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が62(人口10万人当たり75診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に57(人口10万人当たり84診療所(全国平均79)偏差値52)と、5診療所が減少した。

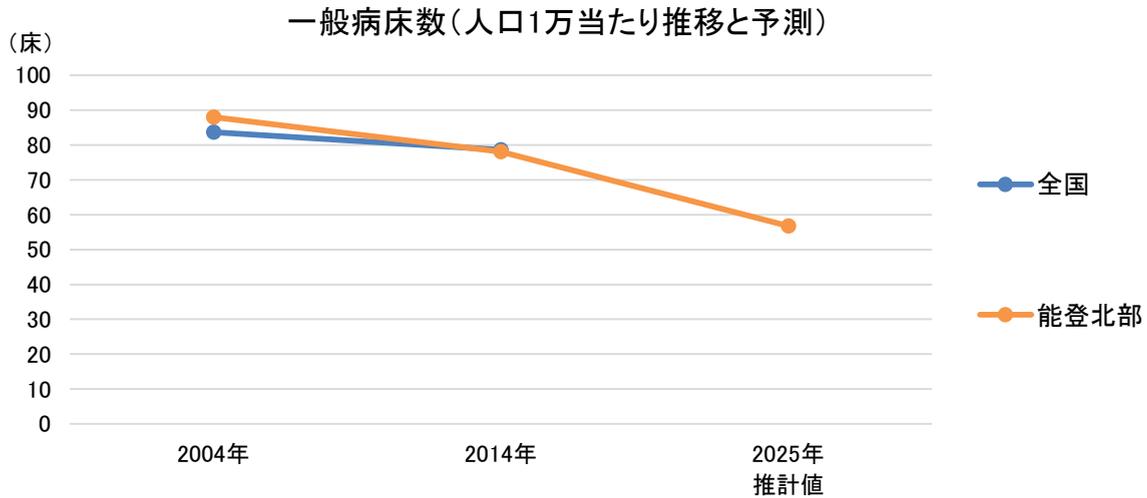
2004年の総病床数が1171床(人口1万人当たり141(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に802床(人口1万人当たり118(全国平均133)偏差値47)と、369床の減少、率にして32%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が117人(人口10万人当たり141人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に106人(人口10万人当たり156人(全国平均246人)偏差値41)と、11人の減少、率にして9%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



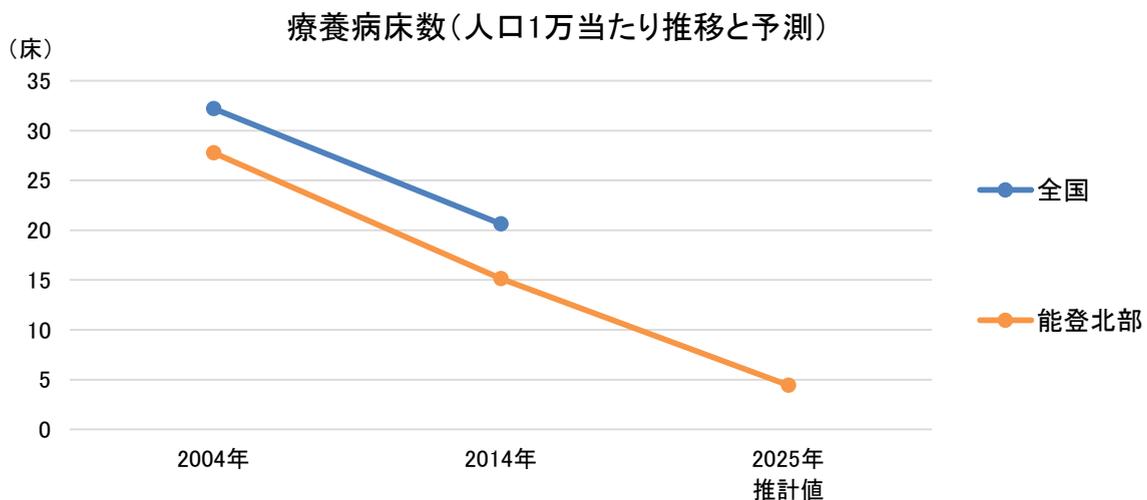
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が732床(人口1万人当たり88(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に530床(人口1万人当たり78(全国平均79)偏差値50)と、202床の減少、率にして28%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には308床(2025年の推計人口1万人当たり57)になることが予想される。



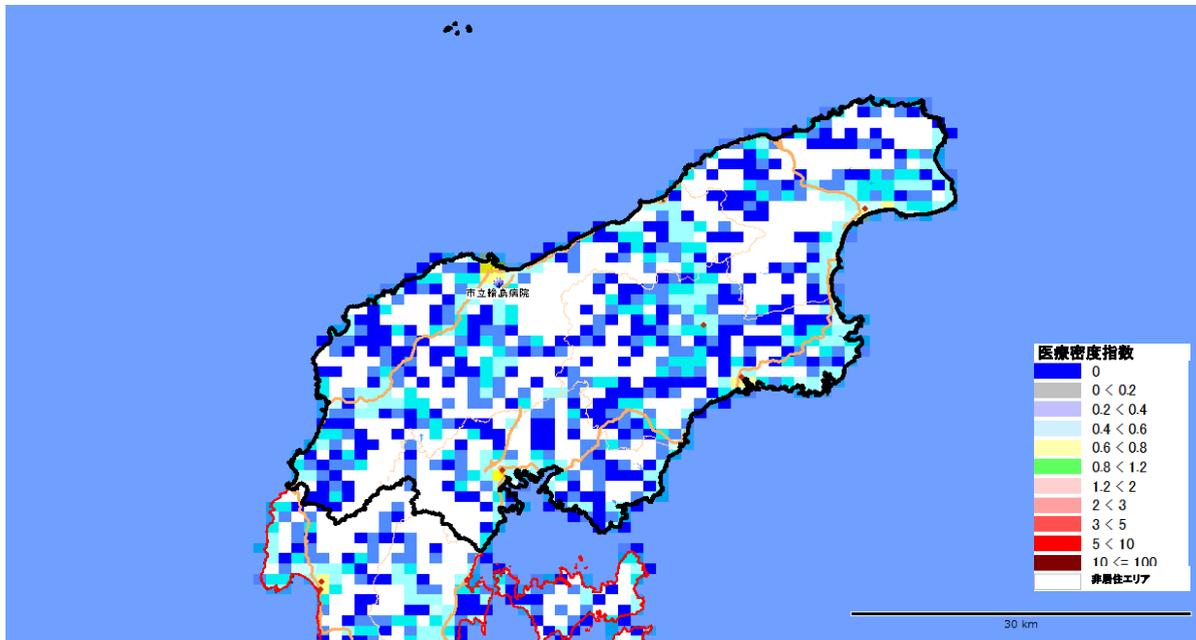
**【療養病床の推移と今後の予測】**

2004年の療養病床(病院+診療所)が428床(75歳以上1000人当たり28(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に261床(75歳以上1000人当たり15(全国平均21)偏差値45)と、167床の減少、率にして39%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には77床(2025年の推計75歳以上1000人当たり4)になることが予想される。

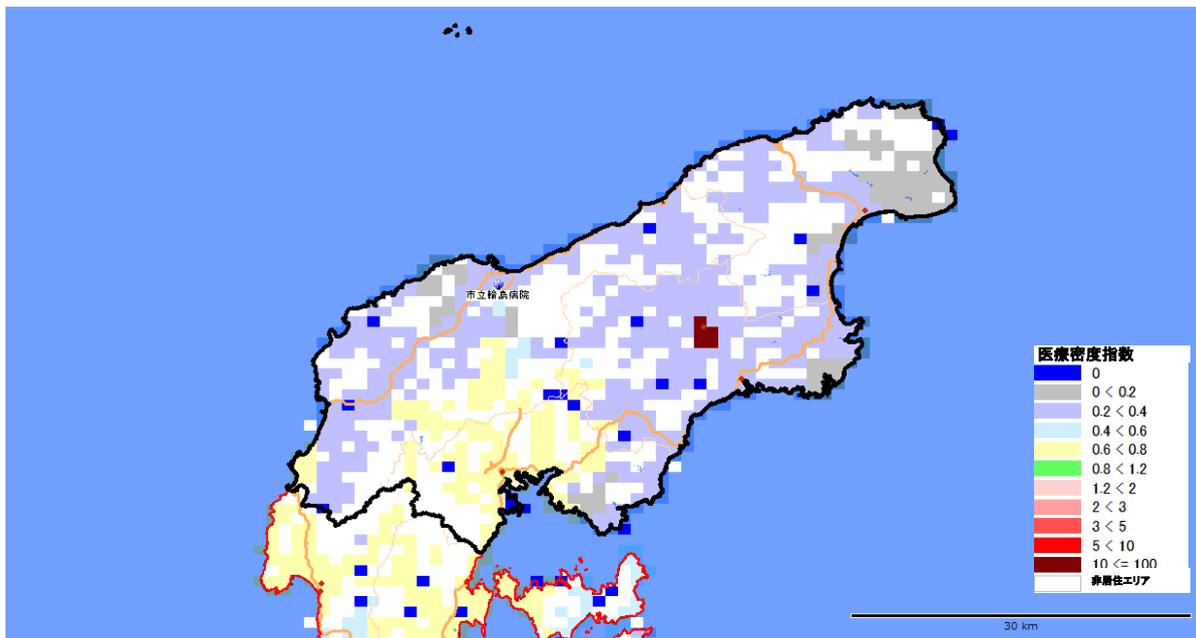


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表17-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表17-4-2 慢性期医療密度指数マップ



## 17. 石川県 (2016年版)

### 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療 (急性期及び慢性期) を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数 (平成26年病院報告 (厚生労働省 平成26年10月)) と診療所医師数 (平成26年医療施設調査 (厚生労働省 平成26年10月)) の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 (厚生労働省 平成26年12月) に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人 (推計) に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均 (99.3床) と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集 (2015年度版) を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数 (全国値) の算出にあたっては、データを手に入れている地域の人口は除いて計算している。

<sup>9</sup>市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

<sup>10</sup>日本医師会JMAP (地域医療情報システム) で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。